

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【公開番号】特開 2003-183372 (P2003-183372A)
 【公開日】平成 15 年 7 月 3 日 (2003.7.3)
 【出願番号】特願 2001-391299 (P2001-391299)
 【国際特許分類第 7 版】
 C 08 G 63/78
 【F I】
 C 08 G 63/78

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 2 月 2 日 (2004.2.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

160 以下の反応温度で第 1 の二塩基酸、過剰量のジオール及び一価アルコールを反応させる第 1 段階、別途第 2 の二塩基酸と一価アルコールとをモル比ほぼ 1 : 1 で反応させる第 2 段階、該第 1 段階と該第 2 段階の生成物を反応させる第 3 段階、第 3 段階の生成物を減圧下でエステル交換反応させる第 4 段階から成る、組成式 $R(PX)_1 \sim 2 (AX)_0 \sim 1 AR$ (式中、R は一価アルコール、A 及び P は二塩基酸、X はジオールを表し、エステル結合の記載を省略する。) で表される異種複合エステルの製造方法。

【請求項 2】

前記第 1 の二塩基酸がアジピン酸であり、前記第 2 の二塩基酸がフタル酸又は無水フタル酸である請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 3】

前記ジオールが炭素数が 2 ～ 6 の 2 官能性アルコール又は炭素数が 6 以下のポリアルキレングリコールである請求項 1 又は 2 に記載の製造方法。

【請求項 4】

前記反応温度が 140 ～ 150 である請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項 5】

前記第 2 段階を 0.2 ～ 10 mmHg の減圧下で行う請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の製造方法の生成物であって、組成式 $R(PX)_1 \sim 2 (AX)_0 \sim 1 AR$ (式中、R は一価アルコール、A 及び P は二塩基酸、X はジオールを表し、エステル結合の記載を省略する。) で表される異種複合エステルであって、PXPX 構造を含まない異種複合エステル。